

だんたいえんぎ ようす がつ にちこし
団体演技の様子=3月23日古志スポーツセンター



表現力豊かな演技を披露

出雲市の新体操教室「フェアリーRGいずも」(山根愛代表)が3月23日、同市古志町の古志スポーツセンターで演技発表会を行いました。発表会は、5月に行われる全国大会の県予選に向けたもので、この時期に毎年開催。幼児から小学6年生までの40人の生徒が個人や団体の演技を発表し、日頃の練習の成果を披露しました。

出雲・新体操教室 フェアリーRGいずも

ぴーの出雲などを拠点に練習に励んでいます。新体操は4月からルールが改正され、音楽に合わせた動きや顔の表情などの表現力が今まで以上に採点ポイントとなります。大会を見据えて演技する生徒らは、リボンやフープ、クラブを使って、表現力豊かな演技を披露すると会場から温かな拍手が送られました。

個人演技を披露した坂根環さん(さくら小5・当時)は「少し緊張しましたが、楽しく踊れました。4月からリーダーになるので、みんなを引っばってきたい」と話していました。開星中・高新体操部のゲスト出演もあり、同クラブ出身・高橋楓花さん(中2・当時)の華麗な演技に生徒たちも見入っていました。同クラブは今年度から中学生クラスも再開し、大会出場も目指します。

江角ヤスは、1899(明治32)年に現在の出雲市斐川町福富で生まれ、のちに、女子教育や被爆者のための福祉事業に力を注いだ偉人です。

東北帝国大学(現在の東北大学)在学中にキリスト教と出合って入信し、卒業後は教師となつて京都の女学校で数学を教えました。その後、4年間ヨーロッパに留学して研さんを積み、帰国後は、長崎で修道会の会長や、1935(昭和10)年に創設された純心女学院(現在の長崎純心大学)の初代学園長をつとめました。

1945(昭和20)年8月9日の午前11時2分、長崎に原子爆弾が投下され

江角ヤス (1899—1980)



女子教育と被爆福祉に力注ぐ

(※写真提供=学校法人純心女子学園 長崎純心大学)

て多くの生徒が犠牲になり、ヤス自身も被爆し生死をさまよいました。奇跡的に助かりましたが、二百数十人の生徒を亡くしたことに心を痛め、戦後は、全国で女子教育の発展と被爆者のための養護施設「恵の丘長崎原爆ホーム」の設置に力を尽くしました。

その功績が認められ、文部大臣教育功労者や長崎市栄誉市民など数々の表彰を受け、1980(昭和55)年、81歳の生涯を閉じました。

ヤスの「マリアさま いやなことは私がよろこんで」という精神は、今も故郷の久木地区で引き継がれています。

シリーズ

郷土の偉人

25



しょうにかないか
小児科・内科

いりょうあしざわい
医療法人 芦沢医院

あしざわ たか お
芦沢 隆夫

いずも し えん やちよう
出雲市塩冶町852
TEL(0853)22-8228



医療法人
つむらファミリークリニック
くみ小児科
小児科 内科

ないか いんちよう つむら ひろと
内科 院長 津村 弘人
しょうにか ふくいんちよう つむら くみ
小児科 副院長 津村 久美



いずもしわたりはしょう ばんち
出雲市渡橋町858番地の1
くみくみ
TEL(0853)23-9393
TEL(0853)23-9399 予約専用

予約サイトのURL <http://ssc.doctorqube.com/kumifamily/>

2025年2月開院

小山皮膚科クリニック

院長 医学博士 皮膚科専門医 中川 優生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	/	●	●	/
15:00~18:00	●	●	●	/	●	/	/

出雲市小山町269-4
TEL(0853)25-7212

